



# 全教一斉 ひのきしんデー

4/29



会場は「教区・支部情報ねっと」でご確認いただけます→

# ひきよせ

発行所

天理教夕張大教会

〒068-0029 北海道  
岩見沢市9条西6丁目21

☎ 0126-22-1248

FAX 0126-23-7275

yubaridai146@gmail.com

ホームページ

bariten.main.jp



LINE 友達登録  
お願いします

## お知らせ

### 月次祭

教会長夫妻おたすけの集い(月次祭終了後)

4月15日(月) 9時

### 教祖御誕生祭

### 婦人会第106回総会

### 少年会夕張団総会

### 全教一斉ひのきしんデー

29日(月)

28日(日)

19日(金) 9時半

18日(木) 10時執行

に声を出して笑ったり、先生方のユニークな演出に盛り上がりつつおられた姿に、心が動かされました。本当に素晴らしい物を見せて頂きました。

それと同時に、大変だったね、よく頑張ったね、という気持ちが湧きました。皆さんには、どうか自分でも、自分の事を認めて、自分の持つ特徴を評価し、三年間よく頑張ったと、自分を褒めてあげて欲しいと思います。

私たちが一人一人の心は自由で、また、時に孤独でもあります。大勢の学校生活の中で、実は人知れず、傷ついていたという経験も、誰もが味わう事かも知れません。これは大人になっても同じです。私自身、中学の頃、辛い経験から人間関係が上手く築けず、孤独に過ごした時期がありました。けれど、大人になって思い出すと、実は誰かが自分の事を気にかけてくれていた事に気づきました。こんな自分と仲良くしてくれた数少ない友達、僕に優しく接してくれた先生。僕の話聞いてくれた先生。そういう優しい人達の思い出しに支えられて、前向きな気持ちになれる時があるのです。

心に残った、人の優しさ。これは人

最後のようになりますが、私達大人は、未

来ある皆様に、時に期待を掛けすぎて

しまう事もあります。本当は、ただ

元気で笑って欲しかったらいい

のです。

皆さんはこの世界に生まれて来てく

れただけで、誰かを幸せにしています。

皆さんの手本になれるように、優しさ

と、一生懸命生きる事を示すのが、私

達大人の役目だと思っています。

私は昨年の学校祭を見学させて頂いて、長い間苦勞された皆さんが、自由

皆様の卒業を心からお祝いし、これからの未来を応援いたしております。」

「第75期卒業生189名の皆様、3年間お疲れ様でした。ご卒業おめでとうございます。同窓会会長の藤田大和と申します。私は今のこの校舎が出来ました1998年の卒業生です。本日は皆さんの同窓会ご入会を歓迎し、お祝いの言葉を申し上げます。

今ここにいらつしやる皆さんは、遡れば小学校高学年の頃から、世間に流行してしまった新型コロナウイルスの為に、色々な事を我慢し続けて来られた事と思います。

本当なら3年前にも、華やかで、賑やかに、小学校の卒業式を迎えられるはずだった皆様にとって、この中学での最後の一年はどのようなものになったでしょうか？

二月月次祭の様様

2月に入って、道内は記録的な暖気となり、各地で一気に雪解けが進んだ。暖かさは有難い反面、急速な雪解けは雪のトラブルも多く、雪崩や落雪による事故のニュースも目にする事が多かった。

大教会でも、15日の直前に10度前後の日が続き、屋根の雪がほぼ全て落ちた。一方で急な落雪によって客殿玄関の鬼板が損傷してしまったり、教職舎の陸屋根が水浸しになってしまいうなど、例年には無い被害も見られた。

迎えた月次祭当日も、岩見沢6度と、暖かくなり、参拝には有り難い気温であった。定刻9時半より開扉献饌。祭儀式のち祭文奏上。その後、座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。

講話には前会長が壇上上がり、「元旦のこと、驚きました。連日、現場の状況を報道で目にします。今も随分、多くの教内の方々が被災地へ行って支援活動をされています。せめて我々は、募金かなと思いますね。例えば100円したらね、1億人の人がしたら100億円になるなと思っていいんですよ。寄付をするというのは、本当に小さいけどね、私はいいいことだと思いま

すので、それぞれの持ち場でやったらいいと思います。時報にも載ってるし、本当にわずかでも国民全体になったら大きいからね。そんな感じの一年の始まりでした。



今年も年祭活動2年目、あと2年というわけですよ。年祭活動といえば、いつも地方講習会をやっています。地方講習会と言ったら、あちらこちらで眠ってるような、ようぼくに参加してもらって、ようぼくが目を覚ますような講習会をやっていたんですね。それはとても大切で、この目的は年祭において、あなたもおやさまのようぼくとして、御用がありますよ、ということをお伝えするためなんです。ある時、今の真柱様に、もう20数年前だけど、そういう講習会をする思いを尋ねてみたの。どのような思いでなさいますか、と。すると、ちょっと思い切った質問なんだから、お答えがないんですよ。『ようぼくがようぼくとして、いてくれたらいいんです』と。た

だそれだけ。ようぼくがようぼくとしてあってほしい、それに尽きるんだな、と思つてね。

私は基本に帰つて、ようぼくつてなんだろう？と考えました。それは、周りの人にちよつとでも幸せな方向へ動いてもらう、心が動いてもらうような何かがあれば、ようぼくの御用なんだなと思うんです。においがけ・おたすけという、なかなか難しいようなんですけど、おやさまから頂いた良いにおいが出てれば、においがけになるわけだから。じゃあおやさまから頂いてる、我々信仰してる人の良いにおい、というものは何だろうね。

信仰してる人の良いにおいとは何か。1つは、生きてることの感謝だ。感謝が溢れてる、これは魅力がある人です。それからその喜びや感謝を、誰かにお伝えしたい、誰かに返したい、という気持ち溢れるというの、これ良いにおいだと思う。自分を振り返った時、良いにおいが溢れてない時は、ありますね。そんな時はどうするか。そんな時は、『おやさま』と唱えるんですよ。自分の中で良いにおいが失われかけてるような時なんか、唱えて繰り返し、若干良いにおいが戻ってくると思

うんです。人と出会う前にやると、いいものが出ますよ。それから、今日は難しい相談しなきゃならぬいな、という時はやっぱりお願いのおつとめをしてから会う。そうすると、自分の中の悪いところは神様が抑えてくださつて、おやさまのおかげでいいものを出させてもらえます。そうするとね、にをいかけとかおたすけは、特別じゃなくなるわけです。要するに、年祭活動といつても、自分の心作りをすればいいわけだ。『おやさま』と唱える、また喜び、生きる感謝。何か人のために、と思つて通れば、毎日がにをいかけ、毎日がおたすけになる。そういう風に考えておきます。

うと、まあなんかのお世話ができたらいいな、また、そういうことは好きなのかなって思います。私も、うちの奥さんも、人の相談を聞いたり、お世話する事は嫌じゃない。この9日に、苦小牧に行つてきたんです。大教会にいた、I君で知つてますか。青年さん。放浪した挙げ句、お腹を空かして入つてきた。修養科も出て、大教会の住込から家へ戻つて、もう10年以上なるかな。ずつと会つてないんですよ。会いたいと思つて苦小牧に行つて。お母さんはもう10年ぐらい前に仕事辞めてるけど、

天理教災害救援ひのきしん隊基金

📍 ゆうちょ銀行または郵便局からの振り込み

口座記号番号 00960-5-197968  
口座名義 天理教災害対策委員会

📍 他金融機関からの振り込み

銀行名 ゆうちょ銀行 支店名 〇九九店  
預金種目 当座預金 口座番号 0197968  
口座名義 テンリキョウサイガイタイサクイインカイ

愛知 夕張  
高橋悟志の  
布教日誌 vol.10



布教の家生活も残り1ヶ月となりました。1月31日から2月22日までの期間は天理教校本科実践課程から学生6名、引率2名の方々が布教実修に來られました。個人的に2月は終わりが近いので、勇みづらい月になるかなと思いましたが、学生たちが毎日とても勇んでいたので、触発され、僕らも毎日勇んでにをいがけに歩くことができました。

学生たちと一緒ににをいがけに歩き、練り合いをする中で戸別訪問の大事さを改めて考える事ができました。戸別訪問はにをいがけの基礎です。他人のプライベートな空間にお邪魔するので、自然と低い心になっていき



ます。この低い心というのが重要で、高慢な心では、お話も聞いてはもらえませし、良い関係が築けません。時には怒鳴られたり、無視されることも多くありますが、きちんと心に受け入れる事で、信仰の器を大きくしていけると思います。残り少ない日数ではありますが、頑張っていきたいと思ひます。

30数年苦小牧でお店やって。そのお母さんにも悩みがあつてね。そういう話を、こつちはただただ聞いて、なんかの力になつたかどうかわかんないけども、しかし昔を振り返り今を思い、やっぱありがたいことも思い出してもらえた。そのお母さんは苦小牧でエッセイクラブに入つてね。大したい文章書いてんだわ。それなりになん

とか生きてね。パツとしないと言いなながら、今は幸せなんじゃないかな。そんな姿を見ておかげで信仰の語り合いもできた。こちらから、あちこち訪ねることが、よろばくの掘り起こしになると思う。」と話された。

大教会長はあいさつで、この度の能登半島地震を受けて教会本部で常設されることになった、『災害救援ひのきしん隊基金』について説明し、また大教会にても募金箱を設置して、毎月会長自ら基金に募金へ行く事を明らかにして、それぞれの協力をお願いされた。また、教内の被害状況と、各教区の

救助・活動状況を説明された。祭典後には、久し振りに昼食用意され、温かい井に舌鼓を打ち、和やかに食堂で過ごす参拝者の姿が見られた。

支部災害救援ひのきしん隊  
大教会を宿舎に冬季訓練

講話の内容、他  
記事の写真は以下のQRコードより  
ご覧いただけます



南空知支部災救援隊（富山知一隊長【栗山分教会長】）は、1月29日〜30日、冬季平時訓練として、三笠市社会福祉協議会と連携し、同市内独居老人宅などの除雪作業にあつた。地域の方に喜んでもらうように、長く勤めているベテラン隊員が主となり、手際よく作業を進めていく。しかし、その中には若い隊員も数名参加しており、新旧がコミュニケーションを取りながらのきしんに励む姿は、同隊のさらなる発展を予感させた。またコロナ禍後に自粛されていた

庶務部 2月

- ▽初席 藤崎 翔也 (旭都) 2・25
- ▽女子青年担当者講習会 佐藤 千晶 (上富良野) 2・28

宿泊での訓練が再開し、今回は夕張大教会が宿营地となった。1日目作業後は、近隣浴場での入浴や食事など、リラククスした時間を共に過ごし、今後の活動に向けてより一層の親睦を深めた。



大教会日誌抄 2月

- ▽みちのだい育み塾担当者講習会 2・29〜3・1
- 竹田 愛子 (馬追)
- 高橋 多江子 (祝梅)
- 1日 たすけ推進会議
- 4日 会長、支部例会、組例会
- 5日 会長、保護司会合
- 14日 月次祭準備
- 15日 月次祭
- 18日 会長、信者宅年祭
- 21日 前会長、札幌刑務所教誨へ
- 22日 会長、おちばへ
- 24日 会長、本部神殿当番前会長、信者宅葬儀(25日)
- 26日 本部月次祭 遥拝式
- 会長夫人、おちばへ
- 27日 会長、かなめ会
- 会長夫人、本部婦人会例会
- 28日 会長夫妻、帰会

回廊ひのきしん 2月25日

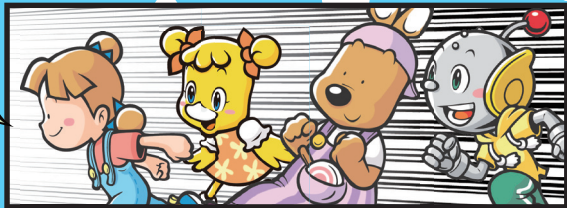


1月25日

# 夕張団 とも おぢばがえり 2024 7/26-29



夏のおぢばに  
**集合!**



行程 ○ 7月26日：詰所集合 27-28日：おぢば行事 29日：詰所解散  
(各自で詰所集合、解散) ※スタッフ同乗の便は引率いたします。

費用 ○ 小学生5400円、中学生5400円、高校生6600円、大人7600円

※詰所費、おぢば行事参加費のみ。

往復航空券代、空港送迎車代は含まれていません。

空港送迎車 ○7月26日 14:30 関西空港→詰所 申込み：夕張団 千葉祐生  
(片道2500円) ○7月29日 11:00 天理→関西空港 ○ 080-3973-9491



## 少年会 夕張団 総会

4月28日 10時開会

9時より受付  
開会

～ 御告辞 ～

育成会長様お話

おつとめまなび

昼食

お楽しみ行事

解散



よろづよ八首～四下り目 祝梅長沼北夕 幌都夕喜元  
五下り目～八下り目 直轄上富良野峰延 清真布旭都  
九下り目～十二下り目 幌向 栗山 馬追 理喜道